



平成26年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月13日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL <http://www.ya-man.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 貴三代
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮崎 昌也 (TEL) (03)5665-7330
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第1四半期の連結業績（平成25年5月1日～平成25年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第1四半期	4,014	△23.2	△563	—	△539	—	△339	—
25年4月期第1四半期	5,227	△7.9	405	△49.6	408	△52.4	250	△48.6

(注) 包括利益 26年4月期第1四半期 △360百万円 (—%) 25年4月期第1四半期249百万円 (△48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第1四半期	△58.12	—
25年4月期第1四半期	42.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第1四半期	10,512	6,180	58.8
25年4月期	10,761	6,645	61.8

(参考) 自己資本 26年4月期第1四半期 6,180百万円 25年4月期 6,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成26年4月期の連結業績予想（平成25年5月1日～平成26年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,550	12.7	120	△75.6	80	△82.8	40	△85.8	6.86
通期	22,550	16.1	900	29.5	810	56.9	460	51.6	78.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
 新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無
 (注) 詳細は、(添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
 ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)
 ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年4月期1Q	5,834,888株	25年4月期	5,834,888株
26年4月期1Q	152株	25年4月期	152株
26年4月期1Q	5,834,736株	25年4月期1Q	5,834,772株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)におけるわが国経済は、昨年12月に発足した新政権による経済政策などを背景に過度な円高の是正による輸出企業の業績改善や企業設備投資増加など改善の兆しが見られた一方、新興国の政情不安や成長鈍化、円安による原材料費高騰もあって景気の回復にはまだまだ予断を許さない展開にあると言えます。

このような状況の下、当社グループでは、引き続き注目され活況を呈している美容健康機器業界において中長期的に成長をしていくために、ヤーマンブランドの浸透を重視した戦略を積極的に継続展開してまいりましたが、前期より着手している大手家電量販店向け卸売事業について代理店を経由しない直接取引形態への移行がまだ完了していないこともあり、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,014百万円(前年同四半期比23.2%減)、経常損失は539百万円(前年同四半期は408百万円の利益)、四半期純損失は339百万円(前年同四半期は250百万円の利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

ショッピング専門チャンネル向けではアパレル品を中心に安定した売上を計上しておりましたが、地上波通販会社向けやカタログ通販会社向けで苦戦し、売上高は1,397百万円(前年同四半期比13.9%減)、セグメント利益は448百万円(前年同四半期比25.4%減)となりました。

②店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

前期より取り組んでおります大手家電量販店向け卸売事業における販売形態の直接取引化移行の影響が大きく、売上高は514百万円(前年同四半期比71.3%減)、セグメント利益は33百万円(前年同四半期比96.1%減)となりました。

③直販部門

直販部門では、インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

新聞、雑誌媒体やインフォマーシャルで好調に推移したほか、化粧品のリピート売上にも下支えされ、売上高は2,083百万円(前年同四半期比18.6%増)となりましたが、広告宣伝費の増加により、セグメント損失は91百万円(前年同四半期は21百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ248百万円減少し、10,512百万円となりました。現金及び預金の増加455百万円、受取手形及び売掛金の減少1,361百万円、商品及び製品の増加536百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、4,332百万円となりました。支払手形及び買掛金の減少127百万円、長期借入金の増加427百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、6,180百万円となりました。四半期純損失の計上339百万円及び剰余金の配当105百万円による利益剰余金の減少444百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降につきましては、大手家電量販店向け卸売事業における販売形態の直接取引化の完了に注力しつつ、ヤーマンブランドの浸透のための様々な施策を継続してまいります。

なお、平成25年4月期決算発表時（平成25年6月14日）に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)
税金費用の計算 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,270,255	2,726,085
受取手形及び売掛金	2,707,681	1,346,369
有価証券	50,100	50,108
商品及び製品	3,731,974	4,268,902
仕掛品	41,347	64,152
原材料及び貯蔵品	305,139	264,256
その他	693,678	847,037
貸倒引当金	△7,970	△3,983
流動資産合計	9,792,207	9,562,929
固定資産		
有形固定資産	541,867	540,281
無形固定資産	307,120	290,706
投資その他の資産		
その他	137,308	136,011
貸倒引当金	△17,155	△17,155
投資その他の資産合計	120,152	118,855
固定資産合計	969,140	949,843
資産合計	10,761,348	10,512,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,644,060	1,516,877
1年内返済予定の長期借入金	403,643	446,960
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払金	1,473,082	1,373,105
未払法人税等	15,818	6,723
賞与引当金	27,500	13,750
返品調整引当金	183,054	151,122
その他	72,979	104,690
流動負債合計	3,855,139	3,648,230
固定負債		
長期借入金	236,686	663,794
その他	24,251	20,704
固定負債合計	260,938	684,498
負債合計	4,116,077	4,332,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,491,494	3,047,374
自己株式	△140	△140
株主資本合計	6,618,945	6,174,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,307	1,637
繰延ヘッジ損益	24,018	3,580
その他の包括利益累計額合計	26,325	5,217
純資産合計	6,645,271	6,180,043
負債純資産合計	10,761,348	10,512,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
売上高	5,227,674	4,014,651
売上原価	2,054,205	1,542,871
売上総利益	3,173,468	2,471,779
返品調整引当金戻入額	155,504	183,054
返品調整引当金繰入額	165,495	151,122
差引売上総利益	3,163,477	2,503,711
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,511,240	1,826,542
給料及び手当	160,790	159,706
賞与引当金繰入額	13,750	13,750
減価償却費	25,746	26,579
研究開発費	25,164	21,947
その他	1,021,726	1,018,827
販売費及び一般管理費合計	2,758,417	3,067,352
営業利益又は営業損失(△)	405,060	△563,640
営業外収益		
受取利息	153	144
受取配当金	27	114
為替差益	8,212	24,106
貸倒引当金戻入額	2,662	3,987
その他	2,552	2,779
営業外収益合計	13,608	31,132
営業外費用		
支払利息	9,159	5,757
支払保証料	488	164
その他	874	1,358
営業外費用合計	10,522	7,281
経常利益又は経常損失(△)	408,147	△539,788
特別損失		
固定資産除却損	2,779	1,185
特別損失合計	2,779	1,185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	405,367	△540,974
法人税等	155,162	△201,879
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	250,204	△339,094
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250,204	△339,094

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	250,204	△339,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△837	△670
繰延ヘッジ損益	—	△20,437
その他の包括利益合計	△837	△21,108
四半期包括利益	249,367	△360,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,367	△360,202
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,624,241	1,795,800	1,756,639	5,176,682	50,992	5,227,674	—	5,227,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	85,631	85,631	△85,631	—
計	1,624,241	1,795,800	1,756,639	5,176,682	136,623	5,313,306	△85,631	5,227,674
セグメント利益又は損 失(△)	601,423	853,505	△21,113	1,433,815	25,559	1,459,375	△1,054,314	405,060

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,054,314千円には、セグメント間取引消去7,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,061,314千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,397,678	514,738	2,083,975	3,996,391	18,259	4,014,651	—	4,014,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	87,119	87,119	△87,119	—
計	1,397,678	514,738	2,083,975	3,996,391	105,378	4,101,770	△87,119	4,014,651
セグメント利益又は損 失(△)	448,790	33,640	△91,110	391,319	△13,317	378,002	△941,643	△563,640

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△941,643千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△950,943千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。